

ふくどん

# 福井

福祉情報誌 第114号 2016. 11. 1

編集・発行



社会福祉法人

西原町社会福祉協議会

〒903-0111 沖縄県中頭郡西原町字与那城135番地

TEL 945-3651 FAX 946-6777

URL [www.nisya.net](http://www.nisya.net) E-MAIL [nisya@nisya.net](mailto:nisya@nisya.net)

## さわりんと元気に募金活動!!

赤い羽根共同募金運動が、10月1日の出発式を皮切りにスタートしました。  
今年度もこれまで同様、温かいご支援とご協力をお願いいたします。

|    |                             |                          |
|----|-----------------------------|--------------------------|
| 目次 | さわりんと街頭募金・・・・・・・・・・・・・1     | サポートセンターはばたきだより・・・・・・・・4 |
|    | 赤い羽根共同募金スタート・・・・・・・・・・・・・2  | 介護予防拠点「いいあんべー家」だより・・5    |
|    | 社会的孤立対策モデル事業等・・・・・・・・・・・・・3 | お知らせ・・・・・・・・・・・・・6       |

「福井」は社協会費、赤い羽根共同募金配分金、寄付金、沖縄県補助事業等によって作成されています。



# 赤い羽根共同募金運動がスタート

10月1日からスタートした赤い羽根共同募金運動は、サンエー西原シティでの出発式を皮切りに12日に484社への企業訪問と19日に町内学校訪問を行い、募金協力の依頼を行いました。

出発式では、約80名の参加のもと新川善昭町共同募金委員会長の運動協力あいさつのあいさつ、県知事メッセージ（代読）がありました。その後、町内の5企業（新中糖産業株式会社、三善建設株式会社、東海造園、有たくし塗装店）が第1号募金として協力があつきました。結びには、ガンバロー三唱で、参加者全員が運動期間一致団結して取り組むことを誓い合いました。



出発式での第1号募金の様子



坂田小の皆さん

本年度も西原町内の各世帯、事業所、職場、学校等において赤い羽根共同募金へのご協力と、町内スーパー等にて街頭募金を実施致しますので、ご協力よろしく願います。



出発式後の街頭募金

出発式のあと、サンエー西原シティ店頭にて街頭募金を行い、出発式の参加者とともにさくらんぼ学童の子供たちが募金活動を行い、早速温かい志をいただくことができました。また、16日には、ハイサイ学童・あがり学童・坂田小の児童、西原中・西原東中の生徒、キリスト教短大学生、民生委員の方々のボランティアのもと街頭募金を行います。



西原中・キリ学・民生委員の皆さん



西原東中の皆さん

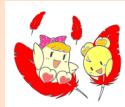


ハイサイ学童・あがり学童の皆さん



出発式の参加者

## 楽しい街頭募金ボランティアやってみませんか。 - ボランティア募集中 -



1. 内容：募金箱を持って店頭にて募金呼びかけを行います。
2. 実施日程（全て日曜日実施）
  - サンエー西原シティ※集合場所：宝くじ売り場横 11月6日（日）・12月18日（日）・25日（日）
  - ザ・ビッグ西原店※集合場所：店頭入り口 11月20日（日）
  - メイクマン・ニューマン店※集合場所：店頭入り口 12月4日（日）
3. 募集人数：1回あたり15名程度（活動場所によって、人数は異なります）
4. 活動時間：午後2時～4時・午後4時～6時（活動時間5分前には集合をお願いします。）
5. 参加申込：随時行っています。希望日の1週間前には参加申し込みをお願いします。なお、参加申し込みが多数の場合は場所の都合上、先着順にて決定を致しますのでご了承ください。

※町内学校へも街頭募金ボランティア募集を行っています。児童生徒が参加希望の場合は、学校のボランティア担当の先生へお申込みください。

※児童生徒の服装は軽装（学校指定ジャージ）か制服でお願い致します。また、当日は靴での参加をお願いします。

※一般の方は、直接、下記の社会福祉協議会へ申し込みを行ってください。

○申込・問い合わせ先

西原町社会福祉協議会 TEL945-3651 FAX946-6777（担当：山田）





# 社会的孤立対策モデル事業モデル区11自治会

・地域窓口相談員連絡会・

地域福祉の課題等が増大し、社会的孤立をつくらない取り組みが求められている中、本会では地域で相談と支援ができる支援合い体制づくりとして、町内11自治会を今年度のモデル区自治会と認証し、地域の公民館において相談窓口を開設し地域住民のようす相談に対応していきます。今回、地域窓口相談員連絡会を開催し、地域を超えた相互扶助や、相談員及び自治会の抱え込みを防ぎ、誰もが安心して暮らしていける地域づくりに向けた活動へむけて活発な意見交換が行われました。



連絡会の様子



連絡会の様子

今後もモデル区では、地域の公民館において相談窓口にて地域住民のようす相談に対応していきます。ちょっとした困りごと・・・、誰に相談していいかわからない・・・、町の相談室へ行くまでもないけれど・・・。お気軽に地域の相談窓口へお立ち寄りください。

【平成28年度モデル区】

|             |
|-------------|
| 千原自治会       |
| 坂田自治会       |
| 呉屋自治会       |
| 平園自治会       |
| 美咲自治会       |
| 桃原自治会       |
| 県営坂田高層住宅自治会 |
| 幸地ハイツ自治会    |
| 嘉手苅自治会      |
| 小那覇自治会      |
| 小波津団地自治会    |

※相談日、時間帯は各自治会により異なりますので、詳細は各自治会へお問い合わせ下さい。

## 西原町「地域見守り隊」協定締結式

昨年度に引き続き今年度も、地域住民や町内企業が町社協と協働で「地域見守り隊活動」に取り組んでいます。これは、地域に住む高齢者、障がい者、要援護者、認知症、またその他の理由により支援を必要とする方々が住み慣れた地域の中で安心して暮らすことができるよう、また身近な存在である地域住民同士が助け合い・支え合える地域づくりを目的として、町内企業にも業務の範囲内で、町全体における見守り体制づくりにご協力をいただいています。

10月に琉球治療院とデイサービスさとうきび奥平和也施設長「地域の為に出来る事から協力させていただきます。」

町社協の新川善昭会長が「町内企業の皆様、安心して暮らせる福祉のまちづくりのために、ご協力よろしくお願い致します」と証書を交付しました。



平成28年10月18日、デイサービスさとうきび奥平和也施設長「地域の為に出来る事から協力させていただきます。」



平成28年10月7日、琉球治療院林秀一代表「このような形で、日頃お世話になっている地域の皆さんの安心に繋げることができて嬉しいです。」





# はばたき だより

○名 称  
社会福祉法人西原町社会福祉協議会  
サポートセンターはばたき

○営業日  
毎週月曜日～金曜日  
(土・日・祝日は休み)

○開所時間  
8:30～17:15

## ☆花・野菜を育苗中☆

日中涼しくなってきたのですっかり秋めいてきました。現在、はばたき農耕班では季節の花と野菜の種をまき、育苗の真っ最中です！

成長を見ながら随時はばたき前にて販売していきますので、お近くに来られる際は是非お立ち寄り、お声かけ下さい。



心をこめて育てています

## 〓これから販売予定〓

☆花・マリーゴールド、なでしこ、ペチュニア、サルビアなど

☆野菜・レタス、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、サンチュなどなど

## プレゼント頂きました

9月26日、はばたきを訪れたお客様から可愛い手作りコースターと、アクリルたわしをいただきました。青のコースターは、真ん中にハイビスカスがレイアウトされ、喫茶はばたきの制服ととても似ています。赤のコースターは琉球紅型模様で、どちらも沖縄らしさが表れていて見てるとすごく癒されそうです。



さっそく使用しています

利用者さんや喫茶に来るお客様にも「可愛い〜!」と、嬉しい言葉を頂いています。

ぜひ！中央公民館1階の喫茶はばたきまで足をお運びください！そして、美味しいドリンクやお菓子を召賞味ください！

## ボッチャ大会へ参加！

サポートセンターはばたきでは、年に4回、余暇活動を行っています。

9月15日に与那原町観光交流施設にて、きょうさん加盟事業所と共に、交流を兼ねて「ボッチャ大会」を行いました。皆さん、汗をかいてスポーツを楽しんでいました。

日々、お仕事を頑張っているはばたきメンバー、たまには息抜き之余暇活動、スポーツも大切ですね。

みんなで  
汗を流して楽しみました

6月の創作活動



8月の風船バレーボール大会

その他にも6月「創作活動」8月「風船バレーボール大会」も参加しています。





## 西原町介護予防拠点施設

いんあんべー一家  
だより

開館日：毎週月曜日～土曜日【日・祝日・年末年始休館】

時 間：9時～17時15分

対象者：西原町在住・在勤の40歳以上の方

利用料：100円【マッサージ器具などを利用できます】

場 所：西原町字与那城135番地(中央公民館隣)

電 話：098-946-1734

※利用時に介助が必要な方は介助者の同伴をお願い致します。

印の部分を押はしていきます。20秒間ゆっくり数えましょう。



・右手は後ろ、左手は右足へ置き、後ろを振り返るようにひねります。



・両手を組み、上または斜め上に背伸びを行い上半身を伸ばします。



・左手で頭をつかみ、左方向に軽く引きます。



・左足を開き右手を挙げて、体を左側に倒します。

気持ちよく感じられる所までゆっくり伸ばしてみましょう。



Let's

がんじゅうボディ〜目指そう健康長寿〜

Part9

## 「椅子を使ったリフレッシュ体操」

デスクワーク等で長時間同じ姿勢が続くと、筋肉の動きが減り血液循環が悪くなってしまう。血液循環の悪くなった筋肉は栄養や酸素が送られにくくなり、痛みやダルさといった症状が出てきます。

また楽だと思いう姿勢が、体に負担をかけている可能性もあります。今回はイスを使つての「リフレッシュ体操」を紹介します。筋肉をほぐし血液の循環を改善することにより、体の痛みの改善や予防を試みましょう。



平成28年度

## 「体操教室」案内

西原町いんあんべー家では、介護予防を目的に、自宅でも取り入れられる筋力トレーニングやストレッチ中心に体操教室を実施しております。

運動を継続することで体力の維持や向上、生活習慣病を予防していきます。また、脳トレなども各教室で実践しており、認知症予防にも向けても取り組んでおります。また、男性が参加しやすい男性だけの体操教室も開催しております。



## ちよごと体操(月・水)

●日時

・毎週月曜日・水曜日

① 10時～10時45分

② 11時～11時45分(各45分程)

●場所

・西原町いんあんべー家

●対象

・西原町在住、在勤40歳以上

・比較的健康な人

●受講料

・無料

●申込み

・窓口にて書類提出

(申請・同意書の記入)

(顔写真撮影)

●持物

・動きやすい服装・室内シューズ

・飲み物



## ちよごと体操男塾(金)

●日時

・毎週金曜日

13時30分～14時30分(1時間程)

●場所

・西原町いんあんべー家

●対象

・西原町在住、在勤40歳以上

・比較的健康な人 男性

●受講料

・無料

●申込み

・窓口にて書類提出

(申請・同意書の記入)

(顔写真撮影)

●持物

・動きやすい服装・室内シューズ

・飲み物



## ロコモ体操塾(土)

●日時

・毎週土曜日

① 14時～14時55分(高齢者)

② 15時～15時55分(中高年)

(各55分程)

●場所

・西原町いんあんべー家

●対象

・西原町在住、在勤40歳以上

・比較的健康な人

●受講料

・無料

●申込み

・窓口にて書類提出

(申請・同意書の記入)

(顔写真撮影)

●持物

・動きやすい服装・室内シューズ

・飲み物



## 法人化40周年記念社会福祉大会のご案内

### 1. 趣 旨

今日、地域社会では、家族関係の変化や住民相互のつながりの希薄化に伴う社会的孤立など地域を取り巻く環境は複雑多様な生活課題が増大しています。

こうした状況を踏まえ、住民、福祉関係機関、行政等と連携を密に相互理解を深め、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるよう地域支え合い体制づくりの充実強化が求められています。

本町では、各自治会において地域の福祉課題を住民自ら解決に向けて取り組んでいく地域支え合い体制づくりが広がりをみせております。

本会は、昭和51年11月に社会福祉法人として認可を受け、今年で40周年を迎えることは大変意義深く、今までに増して自治会、社会福祉関係者はもとより、住民ひとりひとりの参加による地域福祉活動の充実強化が期待されています。

このときにあたり、町内自治会で取り組んでいる地域福祉の実践を報告するとともに、永年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々を顕彰し、更なる地域福祉の充実を目指す機会として本大会を開催します。

### 2. 開催日時

平成28年11月26日(土) 受付：午後1時30分 開会：午後2時

### 3. 会 場

西原町中央公民館 ホール

### 4. 主 催

社会福祉法人 西原町社会福祉協議会

### 5. 記念シンポジウム

「これからの地域福祉推進について」(仮題)

#### ○コーディネーター

鈴木良氏(琉球大学法文学科准教授)

#### ○発表者

- ・地域支え合い体制づくり事業展開について 西原町社会福祉協議会
- ・地域福祉推進活動について 兼久自治会地域福祉推進会
- ・地域見守り隊活動について 幸地高層住宅自治会
- ・社会的孤立対策モデル事業について 坂田自治会



昨年の社会福祉大会



10月8日、県総合運動公園陸上競技場で第52回沖縄県身体障害者スポーツ大会が開催され、県内各地から選手をはじめ、役員やボランティア、家族の方々など総勢1200人もの皆さんが参加して盛大に行われました。

本大会は、障害者が競技を通じて喜びや楽しさを体験し、自らの目標に向かい挑戦することにより、新たな可能性を発見するとともに障害者に対する県民の理解を深め、社会参加の促進を目的とする県内最大の身体障害者スポーツの祭典であります。

西原町からは、7人の選手が南部福祉事務所チームの一員として参加しました。当日の朝は、社会福祉センター前で出発式を行い選手や役員職員、学生ボランティアの紹介の後、上間町長の激励のあいさつを受けて大会会場へ向かいました。

大会場では、遠くは先島や北部から24チームが集結し、各種目で熱戦が展開され、一位は沖縄市、二位は那覇市、三位は宜野湾市の各チームでした。わが南部福祉事務所チームは残念ながら、入賞に及ばず来年に希望をつなげます。

沖縄県身体障害者スポーツ大会へ参加  
西原町身体障害者協会

## 御芳志

御芳志がありましたので、紙面にて紹介し深く感謝申し上げます。

#### ◆一般寄付◆

- ・西原町ゲートボール連合会(会長 山里勝也)様より福祉チャリティゲートボール大会収益金として2万4千円の寄付

#### ◆香典返し◆

- ・字小橋川、呉屋モリ子(故呉屋栄一)様より5万円

#### ◆野菜寄贈◆

- ・與那城一美様、新川佳代子様、小波津ミヅ子様、金城洋子様、金城英子様、糸数トヨ様より  
お元気ですか事業へ野菜提供

